

三心を磨く

学校だより No. 14
 令和4年2月28日(月)発行
 須坂市立東中学校
 文責：嶋田 和美 (教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

保護者による「学校評価アンケート」から

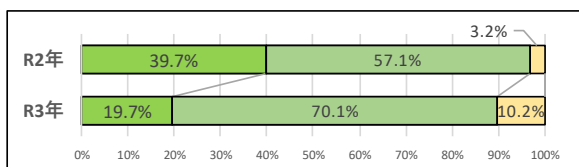
今回は、「学校だよりNo13」で予告させていただいた通り、保護者の方を対象に12月に実施した「学校評価アンケート」の結果をご報告させていただきます。前回報告させていただいた生徒対象の「授業アンケート」「学校評価アンケート」と合わせて、結果から見えてくる今年度の成果と今後の課題を明確にし、来年度にむけての準備を進めて参りたいと思います。

今年度も集計作業の省力化のため、アンケートをgoogleフォームにて行いました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

保護者による「学校評価アンケート」 12月14日(火)～19日(日)実施【回答率89.5%】

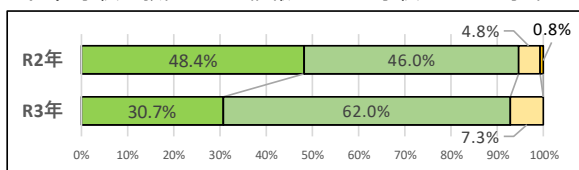
■A 当てはまる ■B どちらかといえば当てはまる ■C どちらかといえば当てはまらない ■D 当てはまらない

(1) 校長を中心とした東中学校の教育活動に満足している。



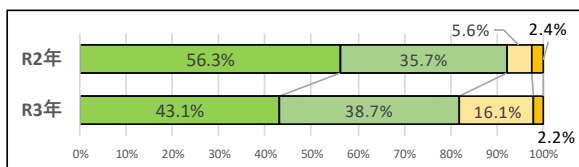
9割弱の肯定的な回答をいただいたが、肯定的な回答でも「どちらかといえば」の回答が増えている。結果については真摯に受け止め、これからの「学び」のあり方やコロナ禍の制限活動について、生徒保護者と合意形成しながら、教育活動に取り組みたい。

(2) 学校の教育方針や情報などが、学校だより、学年だより、学級だより、ホームページ等で分かりやすく伝えられている。



本年度も新型コロナウイルス感染症対策に関わる連絡事項が多かった。家庭との協力がより一層大切になるので、わかりやすい情報発信に心がけたい。今後も丁寧な情報発信を引き続き行っていきたい。

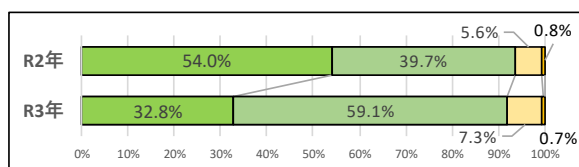
(3) 生徒は、楽しく学校へ行っている。



「楽しく学校に行っている」の肯定的な回答が生徒同様、昨年度より減った。

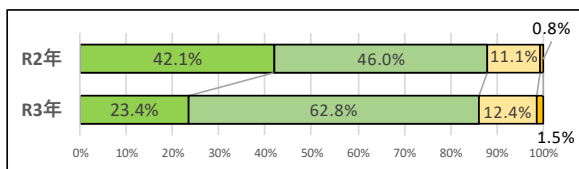
本年度もコロナ禍で、生徒がエネルギーを発散する場面を制限せざるを得ない状況が続いたことも原因であると考え、これからの時代の「学び」のある「楽しさ」について、保護者と共に検討していきたい。

(4) 学校は、体験講座など地域に根ざした特色ある教育活動を展開している。

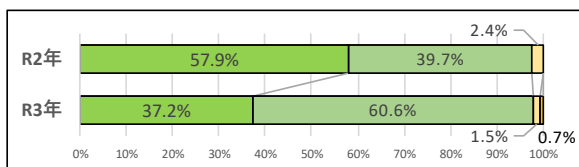


体験講座や行事も昨年度に引き続き制限を設けたが、今年度、より「活動のねらい」を明確にして実施した。肯定的な回答が若干減ったが、今後も「活動のねらい」を明確にした教育活動を展開していきたい。

(5) 修学旅行・東祭など、学年・学校行事は意義深く充実している。

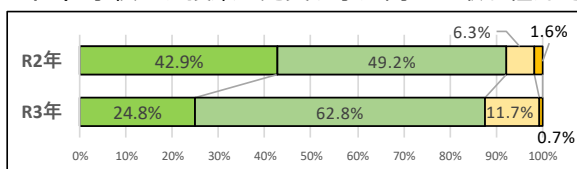


(6) 校舎内外の環境整備が行き届いており、生徒が快適で安全な生活を送っている。



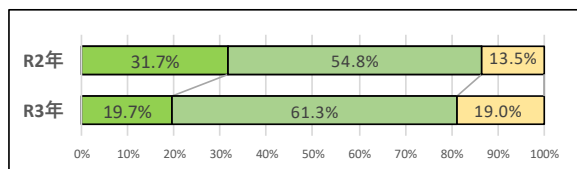
今年度も環境整備についてもほとんど肯定的な回答をいただいた。定期的な点検や日常的な管理技術員の整備を行っている。30年近く使用して現校舎であるが、今後も整った環境を維持していきたい。

(7) 学校は、授業の充実や学力向上に取り組んでいる。



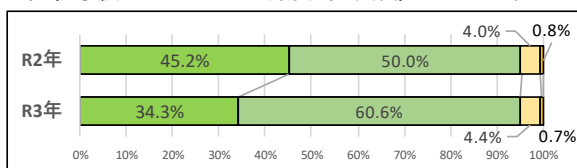
「(7) 授業の充実や学力向上」「(8) 分かりやすい、楽しく学べる」の回答については、肯定的な回答が減った。本年度よりスタートした学習指導要領での「授業改善」に一定の理解を得ていただいていると考えるが、不十分であるため検討したい。

(8) 学校は、授業が分かりやすく、生徒が楽しく学べるように指導している。



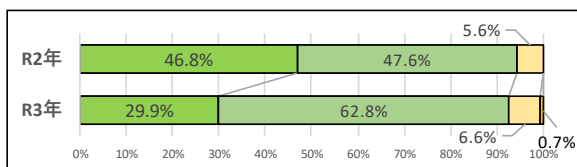
予測不能なこれからの社会を生きる子どもたちにとって大切な学びを取り入れた「授業改善」に引き続き取り組み、参観日等で実際の授業で生徒の姿を見ていただくことを大切にしていきたい。

(9) 学校は、あいさつや服装(身支度)などの基本的な生活習慣を身につける指導をしている。



昨年度と比較し、回答の傾向について、大きな変化はなかった。「あいさつ」「服装」についての対応は、生徒会活動の生活委員会を中心に今後も取り組んでいきたい。

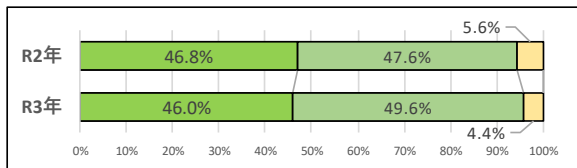
(10) 学校は、いじめや体罰がなくなるように対応している。(R2分割)



年間2回の全校生徒対象の担任による教育相談や「いじめアンケート」を実施している。

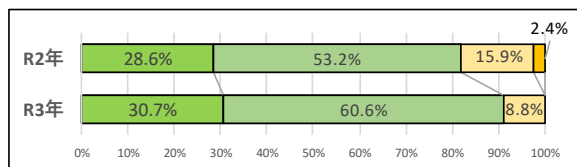
今後も「いじめ」に関してはアンテナ高く取り組んでいきたい。

(11) 学校は、生徒の健康管理に気を配り、安心な学校生活が送れるように配慮している。(R2分割)



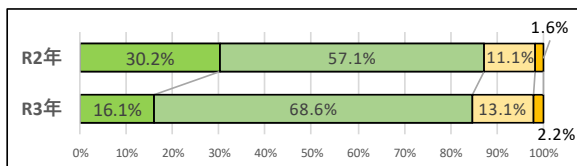
感染症の水際対策として、毎日、生徒玄関での健康観察を大切にしている。引き続き大切にしていきたい。保護者の方にも協力いただき、生徒の健康を守ってほしいようにしたい。

(12) 学校は、学習への質問や学校生活等の相談に、ていねいに対応している。



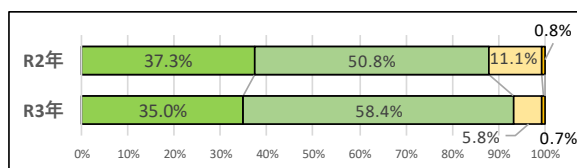
本年度は、二人担任で学級対応した。より丁寧に生徒と向き合うことができた。また保護者の方からの相談も学年職員や養護教諭等、適材適所のチームでの対応を行うことができた。今後も、相談しやすい体制に心掛けたい。

(13) P T A活動は、活発に行われている。



今年度もコロナ禍の中で、P T Aコーラスの中止など、活動を制限してきた。否定的な回答もあるが、少子化が進む中でP T A活動の見直しの時期に来ていることも検討していきたい。状況をご理解いただき、来年度以降のP T A活動のご協力をお願いしたい。

(14) 学校は「食育」について、積極的に取り組んでいる。



「つながる食育推進事業」の指定校として実践してきたことを生かし、昨年度に引き続き「自作弁当」「栄養教諭の授業」などを行い積極的に「食育」を取り入れてきた9割以上の肯定的な回答をいただいた。

来年度以降も「食育」に取組、定期的に啓発活動に取り組んでいきたい。



(15) 保護者の記述から

1) 東中学校の教育活動につきましてお気づきのことがありましたらご記入ください。

- 職場体験等の取り組みはとても良いと思えました。須坂で頑張っている方や企業への見学、体験等もお願いできたらと思います。
 - お世話になっております。コロナの影響や体調不良などで学校に行かれない日も、リモートで一人一台のパソコンを使って授業を受けることが出来て、授業の様子もわかるので良いと思えます。
 - 福祉に関する様々な体験をさせて頂け、とても良い取り組みだと思います。
 - 子供に提出物をきちんと出すことを、家ではなかなか把握出来ないのも、もう少し強く注意してほしいです。
 - 今年から1年生は期末だけのテストになってしまって勉強をあまりしてないように思います。1年生はまだテストにも慣れてない上に、範囲が広くテストの点数が下がり次のやる気にもつながらないのではないかと。今後入試などの考え試験の環境にもなれるように中間テストを再開してほしいと思います。
- △私が思うのは、学力も大事ですが、心の豊かさを教えて頂きたいと思います。躰は家庭です。

2) 学力向上の取組・学習指導・家庭学習の指導（1人1台端末の活用・中間テスト廃止・生活ノート「三心自立」の改訂等）につきましてお気づきのことがありましたらご記入ください。

- 1人1台のタブレットは、上手く活用出来ていると思います。リモート授業が出来るのが良いと思います。
 - タブレットは素晴らしいと思います。コロナ禍による対応の速さは素晴らしいと思います。
 - パソコンがないのでタブレットを持って帰ってきて、学習に使用していて助かります。
 - 時代の流れに合わせて、先生方も生徒の学力向上などより良い授業方法や指導方法を考えてくださっていると思います。
 - 中間テストの廃止は本当に子供のためになっているかは今だにわかりません。中間テスト、期末テストという区切りがあった方が、勉強意欲が奮い立つ気もしてなりません。
 - 中間テストはあった方がいいと思います。実験的に導入との事ですが、特に1年生は初めてのテストが期末だと厳しいです。学力の差が大きくなるだけのような気がします。
 - どの教科も教科書に沿った内容を希望します。中間テストは行って欲しいです。
 - 期末テストだけでは範囲が広すぎる。なぜ本校だけ中間テスト廃止なのか疑問。中間、期末に戻してほしい。
 - 中間テスト廃止になってしまい、楽になった部分もあるのかと思いますが、子供達が自分の学力と向き合う機会も減ってしまい、テスト範囲も広過ぎる為、子供達のやる気などの学習面が大変になってしまっているのではないのでしょうか？
- △タブレットを使っての学習が定着していてよいと思う。中間テストがないのがこれからの生活や受験に響かないかが心配。
- △1人1台のタブレット端末があり、家庭でも利用できるのは便利なことだと思う。だが、タブレット端末での課題等に、時間関係なく追われている感じがする。メリハリのある使い方が出来ればいいのかなと思う。
- △中間テストがなくなることに対してのメリットを詳しく知りたいです。

日頃の教育活動や学力向上について、好意的、建設的等、様々なご意見を多くいただきました。

また、教育活動の細部にわたって、「要望・意見」もいくつかいただきました。紙面では、割愛させていただきましたが、「要望・意見」の内容については、検討し、来年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。

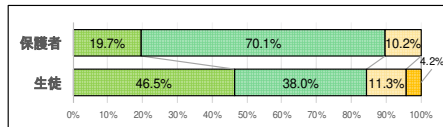


生徒と保護者の比較

■ A 当てはまる ■ B どちらかといえば当てはまる ■ C どちらかといえば当てはまらない ■ D 当てはまらない

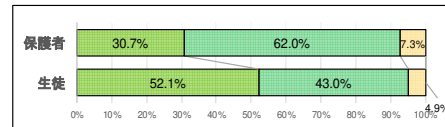
【1】東中学校の生活に満足している

(1) 校長を中心とした東中学校の教育活動に満足している



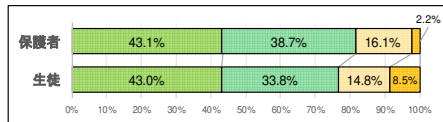
【2】学校は、学校に関する情報をわかりやすく伝えている

(2) 学校の教育方針や情報などが、学校により、学年により、学級により、ホームページ等でわかりやすく伝えられている



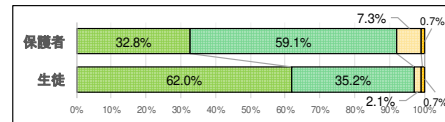
【3】学校が楽しい

(3) 生徒は、楽しく学校へ行っている



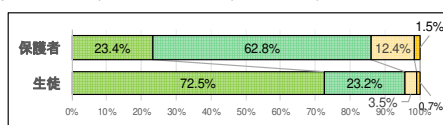
【4】総合的な学習の時間の学習（自分を知る・進路学習・福祉学習・防災学習など）は役立つ

(4) 学校は、体験講座など地域に根ざした特色ある教育活動を展開している



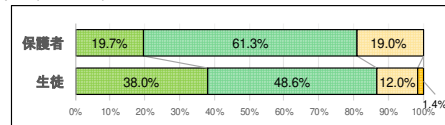
【5】東祭・修学旅行などの行事は楽しく充実していた

(5) 修学旅行・東祭など、学年・学校行事は意義深く充実している



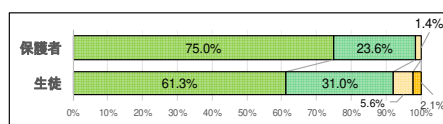
【8】学校の授業はわかりやすく、楽しく学ぶことができる

(8) 学校は、授業が分かりやすく、生徒が楽しく学べるように指導している



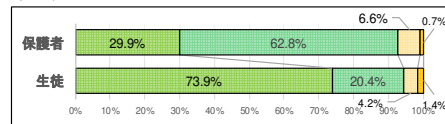
【12】先生方は、あいさつや服装（身支度）などの基本的な生活習慣を身につける指導をしている

(9) 学校は、あいさつや服装（身支度）などの基本的な生活習慣を身につける指導をしている



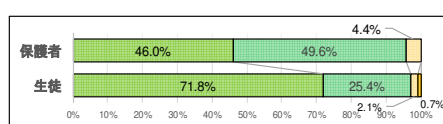
【13】先生方は、一人ひとりの生徒を大切に、いじめや体罰のない安心な学校生活を送れるようにしている

(10) 学校は、いじめや体罰がなくなるように対応している (R2分割)



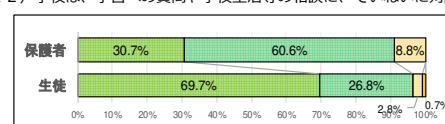
【14】先生方は、生徒の健康管理に気を配り、安心な学校生活を送れるように配慮している

(11) 学校は、生徒の健康管理に気を配り、安心な学校生活を送れるように配慮している (R2分割)



【15】先生方は、学習への質問や学校生活等の相談に、ていねいに対応している

(12) 学校は、学習への質問や学校生活等の相談に、ていねいに対応している



生徒と保護者の受けとめ方に違いが見られる項目がある。「(5) 東祭・修学旅行などの行事は楽しく充実していた」では、保護者の方が思う以上に、生徒は充実していたと回答している。コロナ禍で制限があったり、今までできていたことも生徒数の減少で検討、変更せざるを得ないことがあったりの状況でしたが、多くの生徒が自分たちで作り上げてきたこと、自分たちの取組に自信をもっていること、充実感を得ていることが伺える。

「あいさつ」「いじめ」「健康管理」「相談」等の生活面の項目については、生徒、保護者の方ともに9割以上の肯定的な回答をいただいた。しかし、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の生徒、保護者の方の回答に大きな差が見られる。行事の充実感も「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の差が大きい、学校の様子が、正しく伝わっていない、伝えることができていないことが考えられる。コロナ禍で、参観日や行事、来校人数制限をかけて、実施しているので保護者の方に実際の生徒が活躍する姿を見ていただく機会が減っている。感染症対策をしながら、実際の生徒の姿を見ていただくなど、より安心できる学校の体制を考えていきたい。

生徒、保護者ともに、授業内容の理解と充実やそれに関わる内容のご意見を多くいただきました。特に「定期テストの実施」については、多くの保護者の方が関心を寄せていただいていることが分かりました。本校では、学校目標「三心自立『学ぶ心』『思いやる心』『鍛える心』を磨き自立する」の具現に向け、「夢や志をもち Society5.0 を豊かにたくましく生きる生徒の育成」に取り組んでいます。生徒、保護者の方への情報提供をし、生徒や保護者の方との合意形成を図ることを大切にしたいと思います。

新型コロナウイルス感染の終息も未だ見えず、今後も儀式的行事、生徒会活動を始めとする様々な学校教育活動の制限が考えられます。

この状況下でも、東中をよりよくしていくために、活動の目的を考えながら活動の効率化を目指し学校教育活動に取り組んでいく所存であります。今後ともご理解・ご協力よろしくお願いたします。